



「社会福祉演習」選択生徒のボランティア研修風景

指導計画に留意した学習指導を実践する。

- ⑤ 特に、平成二年度開始の新科目「社会福祉基礎」「社会福祉演習」「総合芸術」においては、地域を学ぶ場とした体験的、奉仕的学習を年間指導計画のもとに実践する。
- ⑥ 学校行事を含む各活動においては、地域理解、社会奉仕学習の観点で家庭及び地域との連携を深めるよう留意する。

(2) 新学習指導要領との関連

前項において述べた実践目標、実践活動は、いわば新しい学習指導要領を先取りしたものとなっており、その関連は次のようになっておりといえる。

- ① 心豊かな人間の育成
本校としての考え方

10 & then は、生徒の主体的活動を促すものであり、その基本的な視座は地域への奉仕活動と地域理解の教育である。このことを学校の教育活動全体を通して行うことにより、人間としての在り方生き方に関する学習を深めることができる。

- ↓ H・R、学裁、生徒会活動での展開。
- ↓ 「社会福祉基礎」「社会福祉演習」での教科指導

② 基礎・基本の徹底と個性を生かす教育の充実

本校としての考え方

本校では以前から一人一人を大切にした教育として個に応じた教育を実践してきたが、生徒の能力・適性、興味・関心、進路等の多様化に対応し、選択科目の拡大と「その他の科目」の設置を図ったことにより、きめ細かな教育を行うことができる。

- ↓ S・Lチーム指導（学習進度の遅い生徒に対する治療的指導のプロジェクト教育）
- ↓ 三年次選択科目の拡大、多様化（四群二十一科目）
- ↓ 「その他の科目」の設置
 - ・ 社会福祉基礎（表3）
 - ・ 社会福祉演習（表3）
 - ・ 世界地誌
 - ・ 情報演習

表3 新設3科目の構成と実施形態

科目名	単位	標準時数	T.T構成	特 別 講 座
社会福祉基礎	3	105時間 講座 8時間 ボ活 3日	教頭 養護教諭	校長講座 町特養講座 ホームヘルパー講座 保育所講座 生徒会顧問講座 企画観光講座 ボランティアグループ講座 地域講師講座
社会福祉演習	2	70時間 講座 55時間 ボ活 3日	教頭 家庭科 国語科 養護教諭	看護法講座 救急法講座 町特養研修 郷土料理講習 保健婦講座 診療所講座 ホームヘルパー講座 福祉施設見学・研修 社協講座 校長講座 地域講師講座
総合芸術	2	70時間 講座 21時間	音楽科 数学科 国語科 教頭	地域講師講座（ワラ細工・桐工芸・おはやし・祝い唄御詠歌） 校長講座・見学

④ 文化と伝統の尊重と国際理解の推進

本校としての考え方

地域の歴史や実態を踏まえた教育は、本校教育の重要な柱である。しかし同時に国際的な視野をもった教育もまた大切であり、各教科・科目、特別活動において重点的に実施する。

- ↓ 世界史の三年次必修
- ↓ 英語科単位数の拡大確保及び選択科目での二科目設置
- ↓ 選択科目「世界地誌」の配置
- ↓ 「総合芸術」における地域の伝統文化、伝承芸能等の学習
- ↓ 福祉学習における異世代間交流学習の実施

⑤ 「ゆとりの時間」の活用

本校としての考え方

- ③ 自己教育力の育成
本校としての考え方
各教科・科目の学習内容の改善を図り、自ら学び自ら考える態度・能力を育成する。そのため、各教科・科目の中で課題研究や探求活動を取り入れる。
- ↓ 福祉学習における年間課題研究のレポート作成（卒論）
- ↓ 国語科における小論文の個人指導
- ↓ 理科、社会科、国語科における地域研究活動